

会 議 録

会 議 名	第20期小金井市公民館企画実行委員の会議 第3回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成20年11月 4日 (火) 午前10時から正午		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	上田委員、遠藤委員、大森委員、加藤委員、末包委員、馬渡委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	松本係長、渡辺社会教育主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 議題</p> <p>(1) 企画実行委員の事業担当について</p> <p>(2) 「月刊こうみんかん」の市民編集委員について</p> <p>(3) 公民館主催講座について</p> <p>(4) 公民館基本方針の具体化と来年度予算について</p> <p>(5) 福社会館まつりについて</p>		

会議結果

司会：大森委員

1 企画実行委員について

大森委員：業務分担表を見てください。新しく参加されましたお二人の委員に興味のある講座の担当になっていただければと思います。

加藤委員：今まで、忙しく働いておりました講座に参加する機会がありませんでした。先日、市民講座に参加しまして、「轍」という映画なども拝見しました。すごい活動があったんだと感心しました。それぞれの事業の、実施時期や進捗状況など教えていただければと思います。

馬渡委員：生まれは九州で、全国いろいろなところで仕事をしてまいりました。小金井のことは詳しくはありません。活動を通して、知りたいと思っています。

大森委員：成人大学は、学芸大学をお借りして実施している講座で、毎年、200名を越える参加者がある人気講座です。今年と、昨年は文学が中心で、一昨年がモーツァルトをテーマにしました。

渡辺：学芸大学の休み期間にという、制約があり9月から10月初旬という期間をずらすことは難しいようです。

大森委員：シルバー大学は、前年の2月から準備会を始めて、終わるのは10月です。

渡辺：半年かけて、作って実施していく講座ですから、大幅に時期をずらすことは難しいでしょうね。その他の講座、成人学校は1月～2月ころ、男女共同は冬、市民講座は秋が多いのですが、このあたりは内容に応じて時期を変えることはできると思います。

上田：「子どもの人権講座」の際、資料の配布など、かなり忙しい状況でした。お手伝いできる方がいればと思います。

加藤委員：「子どもの人権講座」などで、すでに日程が決まっているもので参加できない場合は仕方ないのですが、担当としては、「子どもの人権講座」、「男女共同参画講座」、「市民講座」とします。

馬渡委員：「成人学校」、「シルバー大学」、「市民講座」を担当します。

2 「月刊こうみんかん」の市民編集委員について

大森委員：次に、「月刊こうみんかん」の市民編集委員について、お願いします。

渡辺：公民館運営審議会から「月刊こうみんかん」に市民参加をという提案がありまして、12月から市民編集委員準備会を募集することになりました。市民編集委員と一緒に編集にかかわっていただく方がありましたら教えてほしいのですが。

末包委員：提案した公運審から、担当委員を出していただいたほうが良いと思います。

渡辺：前回の公運審で、説明させてもらいました。

加藤委員：市民の中の若い方で、興味を持っている方もいると思います。今の「月刊こうみんかん」は、どちらかという世代が違うという感じを持たれるかもしれません。

大森委員：基本方針に市民参加のことが出されていますが、今回の市民編集委員の参加については、ワンステップ抜けているようにも感じます。市の編集方針とどういう関係でやるのですか？

渡辺：今の、編集スタッフと別にやる、というのではありません。現在、各館一人ずつ集まって編集会議をおこなっているのですが、その会議に参加していただく方向で考えています。編集方針の一体性は維持したうえで、今お話のあった若い方の感性や、市民活動を PR したい人の声を取り入れることができると考えています。担当委員ということでなくとも、やってみたいという方の情報がありましたら、ぜひ声をかけてください。

上田委員：担当の委員をどうするのか、ということは他の館での様子もみて決めてはどうでしょうか。

3 公民館主催講座について

松本：成人学校については、読み聞かせ、書道、日本民芸、鉛筆のスケッチ・・・といろいろな案が出されて、検討してきましたが、結論として、「合唱の楽しみ」という形で、実施することになりました。時期は、2月の5日、12日、19日の午後7時からです。

遠藤委員：小金井の合唱サークルを見ますと、圧倒的に女性サークルが多いという実情があります。今回、夜の実施となったのは、男性に限定というわけではありませんが、男性にぜひ参加してほしいという意味もあります。

松本：「子ども体験講座」は、11月22日に実施します。午前9時半に二枚橋側入口に集合です。講師は、森林インストラクターの大石さん、槍野さんです。「鳥の生活をのぞき見する」ということで、野川公園で実施します。声かけ、よろしくお願いします。

渡辺：「異世代交流講座」については、9月、10月と議題にして、提案していただきました。具体的には、大学の学生サークルとのコラボレーションと、読み聞かせという二案がありました。

大森委員：子どもたちにとって、大学のサークルのお兄さんたちと体を動かすことができると思ったのです。緑分館でも石蹴りの講座をやっています。

渡辺：それでは、提案がありました農工大学の児童文化研究会と学

	<p>芸大学のサークルと連絡をとってみましょう。</p> <p>市制施行50周年記念公民館の事業についてですが大枠プレゼンテーションの中身が決まりました。テーマは、「食を通じた街の活性化」で、プレゼンは3本です。「ラーメンは小金井を救えるか」と「江戸野菜一品コンテスト」そして、「地元野菜を法政大学の学食に」です。11月16日の午後3時から5時ですが、終了後交流会があります。</p> <p>末包委員：この日は、学芸大学で行われる環境フォーラムとかち合ってしまったね。このチラシは、関係者に配布してくださいという意味ですか？</p> <p>渡辺：はい。よろしくお願ひします。</p> <p>市民講座の記録集を配布しました。</p> <p>遠藤委員：立派なものことができましたね。</p> <p>渡辺：前は、冊子のかたちのもと、CDやデータのかたちのものを作ると言いました。しかし、資料とカットの部分が多くて、それをデジタル化するのは容易ではないので、全部冊子のかたちとしました。</p> <p>4 公民館基本方針の具体化と来年度予算について</p> <p>来年度予算の大枠が決まっています。講座の回数については、先にお知らせした内容そのままです。大きなところでは、基本方針にもとづく重点目標として、本館からは「まちづくり講座」の4回、それから、ハローレンズ後としては「にほんごで国際交流」を予定していますが、講座というよりITサポートのような沙龙的なものというかたちで実施します。</p> <p>5 福社会館まつりについて</p> <p>渡辺： 昨年の福社会館まつり反省会の中で、例年の6月から、4月実施に、という声があり、その方向で考えています。また、内容についてもみなさまから、祭りについて、複合館の良さが出し切れていないという声がありました。11月にまつり実行委員の開催に向けて、事務局会議をもつ予定です。提案がありましたら、お寄せください。</p> <p>次回：12月2日午前10時から公民館本館で</p>
配布資料	別紙1 市制施行50周年公民館企画ポスター

